

YMFG

アジアニュース

2021 年 2 月

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、弁護士法人ベトナム明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス



【大連支店】

タイトル 新型コロナウイルスに関する大連の現地レポート（2）

1. はじめに

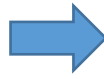
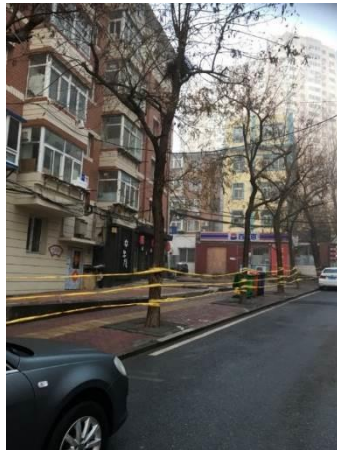
今なお猛威を振るう新型コロナウイルスは世界中で感染者を増やしながら私たちの生活を脅かし続けています。国境は実質的には閉ざされ、自由な往来は制限されたままです。大連に住む駐在員の中には 1 年以上日本に帰国できない日本人が多数います。今回は大連市の状況を 2020 年 5 月号に引き続きお伝えしたいと思います。

2. 街の様子が一変

新型コロナウイルスが感染拡大し始めた 2020 年 2 月頃、市政府は手探りで感染防止策を模索していました。2020 年 2 月頃は、社区（※）への出入りを監視する為にテープで柵が設けられていましたが、夏の感染者がゼロの間に鉄格子が社区の周りに設置されました。大連市は路上駐車が社会問題となっていることから、筆者は違法駐車防止用かと思いましたが、しかし、実際は感染者が出た場合に社区を確実に封鎖する為に設置されたものでした。大連市は感染者がいない夏の時期から冬に感染者が出た場合を想定して鉄格子柵を街に施していたのでした。

（※）大連市の行政上の感染防止策の最小単位で社区は町内会のようなものです。

大連市は日本に非常に友好的な街で、日本人がとても住みやすい街です。日本食レストランや居酒屋も数多くありますが、コロナ禍の影響により閉店した店舗が多くありました。大連市の日系進出企業数は世界第 3 位で、人口 100 万人あたりの日本語能力検定受験者数では全国 1 位（2018 年）となっています。その為、日本語を話すことができる中国人が数多くおり、タクシーに乗ると気軽に運転手から日本語で話しかけられます。その為、日本食レストランも多数ありましたが、新型コロナウイルスの影響で外食需要が減り、出張者の来連が減少した結果、多くの飲食店が閉店に追い込まれました。



2020 年 2 月はテープだった柵が現在は鉄格子柵に変わった
(筆者撮影)

3. 徹底して行われる感染防止対策

大連市では新型コロナウイルスの感染者が 7 月下旬に発見されてからゼロの日が長く続きました。しかし、12 月中旬、海外から輸入した冷凍食品に付着していたコロナウイルスによる感染者が見つかりました。大連市政府は即座に全市民に対し PCR 検査を実施しました。検査は 5 人もしくは 10 人を一つの検査キットで確認する方法です。簡易な方法ではありますが、早期に感染者を特定することで拡大を最小限に抑えることができます。感染が判明した場合、感染者は即座に専門病院に隔離され、同時に感染者の数週間分の行動履歴が公示されます。感染者が訪問した商業施設や建物は場合によっては数日間封鎖されます。今回、感染者が多く発見された地域では 3 回の PCR 検査が実施され、更に感染者が住んでいた社区（地域）の住民 20,000 人が政府の要請により市内に移送され、4 つ星以上のホテルに 14 日間以上の強制隔離となりました。



PCR 検査に並ぶ人々の様子
(筆者撮影)



隔離者用に貸切となった日航ホテルに医療物資が持ち込まれている
(筆者撮影)

4. 進化を続けるネット宅配事業

外出が制限されるようになると、市民はインターネットによる買い物が便利な手段となります。そういった社会状況の後押しもあってか「盒馬鮮生（フーマー）」の躍進が止まりません。盒馬鮮生（フーマー）は、「食」という多様なニーズに対し、アリババの技術とプラットフォームを活用して、小売、飲食、物流およびサプライチェーンを複合させた、新たなビジネスモデルを構築しています。また、その場で買ってその場で調理できる「ロボットレストラン」が有名です。



フーマーのアプリのアイコン

（出所：フーマーHP）

同社は2014年10月22日に設立され、全国13都市に122店舗があります（2020年12月現在）。大連には2019年に進出し2店舗が営業しています。配送は3km以内30分で宅配を行います。配送料もとても安い設定となっており、店舗近隣だと配送料は無料です。

仕組みは利用者がネットで注文を行うとスーパー内に待機している店員が注文に基づき商品を店内から収集します。店舗内の商品がそのまま在庫となっており、値札は一部が液晶化しています。商品を少しでも素早く利用者に届ける為、袋詰めされた商品は店内にある専用レーンを通してデリバリー担当者へ届けられます。

店内は商品がとてもきれいに陳列されており、品揃えは豊富で輸入品も多くあります。鮮魚コーナーには大きな生けすがあり、伊勢エビや鯛など新鮮な魚が取り揃えられています。店内を見て回るだけでもとても楽しむことができます。このようなリアル店舗とモバイルオーダーでの自宅配送システムはアリババが提唱する「ニューリテイル戦略」の一環で、中国都市部で生活する消費者にオフラインとオンラインの垣根を超えたシームレスな買物体験を提供しています。



スーパーの天井には宅配用の専用レーンが設けられている

（筆者撮影）

5. 最後に

中国は社会主義国家であり、国民や居留外国人は国の方針に従うことが求められています。通知が突然発布され、交通封鎖や自宅隔離が要請されることもあります。一方、厳しい感染防止対策は市民を新型コロナウイルスの脅威から守ってくれています。

異常事態が続く世界ですが、新しい働き方が定着しつつあります。リモートワークやテレビ会議は今や当たり前となりました。しかし、テレビ会議は便利さを感じる反面で情報伝達には限界がある、と感じています。現地に足を運び、地元の人々と語り合い、自らの目で確認し感じることの大切さを改めて感じます。

山口銀行大連支店では、様々な中国ビジネスに関するサポートを承っております。是非お気軽にお問合せください。

(山口銀行大連支店 田村卓也)

【参考文献】

- ・ジェトロ大連事務所 提供資料「東北3省の概況（2019年12月）」
- ・アリババジャパン HP

URL : <https://www.alibaba.co.jp/service/newretail/>